



森林環境教育ネットワークメールマガジン 第197号 (平成30年9月18日)



(目次)

- 1 <林野庁プレスリリースから> 平成29年度の特用林産物の生産動向について
 - 2 <コラム> 森林環境教育の現場から(138)
 - 3 <森林・林業白書から> 原木シイタケのブランド化
 - 4 <樹をとりまくはなし>(18) 不思議な角度で伸びる気根ーガジュマルー
 - 5 <イベント情報>
 - ◆安曇野 森の楽校2018
 - ◆風の谷 森の楽校2018秋
- ☆ 事務局から



森林環境教育ネットワーク <http://www.shinrinreku.jp/feenet/index.html>
《バックナンバー<http://www.shinrinreku.jp/feenet/php4/mlbk/index.php>》
《イベント情報の登録・閲覧 <http://www.shinrinreku.jp/feenet/einfo/>》
一般社団法人全国森林レクリエーション協会 <http://www.shinrinreku.jp>



1 <林野庁プレスリリースから> 平成29年の特用林産物の生産動向について

1 生産動向の公表について

林野庁は、毎年、特用林産物(注)の主要な品目について生産量と生産額の調査を行い、生産動向を公表しています。

この調査は、農山村の生産活動に大きく寄与している特用林産物について生産量等を継続的に把握し、それらの変動を分析することにより、需給の安定等に関する施策を推進することを目的としています。

2 平成29年の生産動向のポイント(対前年の増減)

きのこ類の生産量は、0.3%増加しました。

きのこ類のうち、乾しいたけは7%減少し、生しいたけは前年並みでした。

まつたけは73.8%、たけのこが33.7%と大きく減少しました。

主な非食用特用林産物の生産量は、木炭が4.9%減少し、うるしが14.7%増加しました。

平成29年の総生産額は2,783億円で1%減少しました。

(注)特用林産物とは、本来森林や原野から得られる産物のうち一般木材を除いたものの総称であり、代表的なものとしては、しいたけ、えのきたけ、ぶなしめじ等のきのこ類、樹実類(じゅじつるい)及び山菜類といった食用物、うるしや木ろう等の伝統的工芸品の原材料、竹材、桐材といった非食用物があります。

〈添付資料〉

別添 1 主要な特用林産物の平成 29 年の生産動向(PDF : 68KB)

別添 2 参考(平成 25 年～29 年の生産量等)(PDF : 83KB)

添付資料については、<http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/tokuyou/180907.html> を開き、ダウンロードしてください。

お問合せ先

林政部経営課特用林産対策室

担当者:金子、後藤

代表:03-3502-8111(内線 6086)

ダイヤルイン:03-3502-8059

FAX 番号:03-3502-8085

2 〈コラム〉 森林環境教育の現場から(138)

北海道名寄市郊外の小学校の活動です。この日は地区の神社祭りでした。太鼓に相撲大会、魚のつかみ取り、子どもたちは浮かれています！この日のフィナーレは樹名板設置です。一人 1 枚お気に入りの樹木につけていきます。子どもが抱えても届かないトマツの大木から、丁度のサイズのナナカマドやハウチワカエデ、細くてどうやってつけるか考えたオオカメノキなど、多様な樹木に樹名板をつけていきました。そして、来週はそれらの樹木の観察&子ども樹木博士認定活動です。樹名板をつけるのだけで終わらず、特徴や名前まで知ること「私の樹」になると考えています。子どもたちも柳原も楽しみにしている活動、神社山のお祭りとこの活動、以外にマッチしていると感じています！

(森林インストラクター 柳原 高文)

3 〈森林・林業白書から〉 原木しいたけのブランド化

石川県能登半島の先端に位置する奥能登地域は、県内の原木しいたけ生産量の約 8割を占める産地であるが、過疎化や高齢化に加えしいたけの価格の低迷によりその生産量は年々減少し、産地の衰退が危惧されてきた。

このような中、同地域で生産されている原木しいたけ「のと 115」による産地再生を図るため、平成 22(2010)年に「奥能登原木しいたけ活性化協議会」を設立し、最高級品の「のとてまり」を牽けん引役に PR 活動等に努めており、平成 29(2017)年 12 月の初競りでは最高値が 17 万円/箱(6個入)と過去最高を更新するなど、知名度が向上している。

また、鳥取県においても、平成 26(2014)年に「原木しいたけブランド化促進協議会」が設立され、一度は生産が途絶えかけた「鳥取茸王(たけおう)」のブランド再興に取り組んでおり、生産者育成や販路開拓を進めている。最近では、首都圏有名百貨店で定番商品化されるとともに、京都老舗料亭からの引き合いも多くなっている。

4 <樹をとりまくはなし>(18) 不思議な角度で伸びる気根ーガジュマルー

沖縄にて、街路樹のガジュマルを見ると、支柱はことごとく飲み込まれています。こっちで支柱がくい込んでいるのを見つけると、支柱をされている木が可哀そうと思えますが、ガジュマルの場合は、完全に飲まれている支柱のほうが可哀そうに思えてきます。(実際は食い込んだからと言って、木が弱るわけではありません。海外にはベンチ丸ごと飲み込んだ木もあります。)さらに観察すると、支柱にそって気根が伸びていて、支柱が腐っている部分に根は入り込み、いつの間にか気根が支柱とすり替わっているのです。普通なら枝から垂れる気根は垂直に地面に到達するはずなのですが、八つ掛け支柱のような気根となるのです。支柱の材がすっかり無くなっていると、かなり不自然な気根の伸び方です。

ガジュマルは生垣にも使われていて、生垣の中で気根を伸ばして、本州の人間からしたら驚きです。大木になる木でも、刈り込んでもいけちゃうんだと、ガジュマルの許容量を感じました。

(森林インストラクター 岩谷 美苗)

5 <イベント情報>

- ◆安曇野 森の楽校2018
- ◆風の谷 森の楽校2018秋

◆安曇野 森の楽校2018

JUON NETWORK が全国16ヶ所で開催している、森づくり体験プログラム「森林の楽校(もりのがっこう)」

北アルプスの麓に位置する安曇野市での開催も今年で3回目を迎えました。

リンゴ畑が広がる扇状地と湧水の豊かな里山との狭間で、人と自然の関わりを、学習・体験・交流する2日間。

絶景が楽しめる天然温泉や地元の野菜を使った料理が美味しいと

毎回大好評の古民家での宿泊など、晩秋に里山でのひとときを満喫しませんか？

食べ放題のリンゴ狩りや試飲もできるワイナリー訪問のオプションツアーもお楽しみに。

首都圏や名古屋はもとより、関西圏からも来られるよう、集合解散時刻に余裕を持たせています。

お気軽にご参加下さい。初心者大歓迎。

【と き】 2018年10月27日(土)～28日(日) 1泊2日

【ところ】 長野県 安曇野市 三郷小倉地区・明科光地区

【宿 泊】 安曇野地球宿

〒399-8103 長野県安曇野市三郷小倉 4028-1

<http://chikyuyado.com>

※古民家を活かした、ゲストハウスです。

【集 合】

▼公共交通機関でおいでの場合

「松本」駅 アルプス口(西口)ロータリー 11:00

▼自家用車でおいでの場合

安曇野地球宿 11:30

【内 容】

◇除伐作業(低木を手のこで伐採します)

◇枝打ち作業(誰でも安全に高所作業ができる木登り椅子「与作」登場!)

◇竹林整備

◇温泉(露天あり)

[オプションコース]

◇リンゴ狩り

◇ワイナリー訪問

【定 員】 15名

【締 切】 10月19日(金)

※締切日過ぎてのお申込みはご相談下さい。

【主 催】 安曇野市「さとぷろ。」

<http://azumino-satopro.org/>

認定 NPO 法人 JUON NETWORK

【費 用】

◇参加費(昼食、資料代、保険料等)

学生・会員: 2,000 円 / 一般: 4,000 円

※当日のご入会でも会員割引が適用されます。

◇宿泊料・食費(1泊+夕食+朝食)

5,000 円

◇交流会の飲み物代

実費(500~1,000円程度の見込み)

◇松本駅からの送迎

無料(主催者側で負担するため)

※それ以外の手段で来られる方は、現地までの交通費は各自ご負担下さい。

◇[オプションコース]

リンゴ狩りの実費(入園料 500 円、お持ち帰り 500 円/kg)

▼参考(必要経費の合計額)

以上の合計で、概ね以下の金額が、必要経費となります。

(オプションコースを含まない金額です)

学生・会員: 7,000 円 + α

一般: 9,000 円 + α

【日 程】

※多少の雨でも実施しますが、内容が変わることがあります。

○10月27日(土)

11:00 松本駅 “アルプス口” ロータリー 集合・出発

11:30 「安曇野地球宿」集合、開校式(オリエンテーション)

12:00 昼食(各自持参した物)

13:30 竹林整備、後片付け <明科押野山>

16:45 入浴 <ファインビュー室山>

18:00 楽習会 <地球宿>

「さとぶろ。」と安曇野の里山について他

19:00 夕食、交流会 <地球宿>

○10月28日(日)

7:30 朝食 <地球宿>

9:00 森林作業体験 <室山>

12:10 昼食 <地球宿>

13:00 振り返り会、閉校式

14:00 現地解散、松本駅まで送迎(14時半頃 到着予定)

↳ 希望者はオプションコースへ↓

○オプションコース

14時頃 「森林の楽校」閉校式終了後、移動

◇リンゴ狩り、◇ワイナリー見学

16:00頃 解散、地球宿／松本駅まで送迎(16時半頃 到着予定)

【問合せ・申込み先】

認定特定非営利活動法人 JUON NETWORK(樹恩ネットワーク)

〒166-8532 東京都杉並区和田 3-30-22 大学生協杉並会館内

Tel: 03-5307-1102 / Fax: 03-5307-1091

E-mail: juon-office@univcoop.or.jp

<http://juon.or.jp/>

◆風の谷 森の楽校 2018 秋

やさしい風吹く谷、岐阜県揖斐川町谷汲地区。

奈良の飛鳥を想わせるのどかな里山の盆地にて、廃校になった小学校を改装した「ラーニングアーバー横蔵」を拠点に、周辺の森づくりを行ないます。

今回は、横蔵寺の紅葉ライトアップに合わせた開催日程です。

普段の仕事から離れ、オフタイムを有意義に過ごしましょう。

初心者の方も大歓迎です。

関西方面からも、在来線で間に合う距離。

晩秋を風の谷で満喫しませんか。

【と き】 2018年11月10日(土)～11日(日) 1泊2日

【と ころ】 岐阜県揖斐郡揖斐川町谷汲・横蔵地区

【宿 泊】 ラーニングアーバー横蔵

〒501-1316 岐阜県揖斐郡揖斐川町谷汲木曾屋 180

<http://www.juann.jp/>

◇宿泊施設に改装しており、畳の部屋に布団で寝られます。

【内 容】 森づくり体験(間伐、枝打ち等)

[オプションコース]: 調整中

【定 員】 30名

【締 切】 11月2日(金)

※締切日過ぎてのお申込みはご相談下さい。

【主催】 JUON NETWORK

【協力】 ぎふいび生活楽校、横蔵財産区

【費用】

※当日のご入会でも会員割引が適用されます。

◇参加費(資料代、保険料等)

学生・会員: 500 円／一般: 1,000 円

◇宿泊料・食費(宿泊食事 1 泊 3 食代)

学生・会員: 7,500 円／一般: 9,000 円

◇交流会の飲み物代

実費(これまで 500~1,000 円程度の事が多かったです)

◇穂積~ラーニングアーバー間の送迎

無料(ラーニングアーバー所有車利用のため)

※それ以外の手段で来られる方は、現地までの交通費は各自ご負担下さい。

▼参考(必要経費の合計額)

以上の合計で、概ね以下の金額が、必要経費となります。

[オプションコース参加の追加料金はありません]

学生・会員: 8,000 円 + α

一般: 10,000 円 + α

【集合】 ラーニングアーバー横蔵 13:00

◇JR穂積駅から送迎バスを予定しています。

駅改札前集合 12:10 発

【日程】

※多少の雨でも実施しますが、内容が変わることがあります。

○11月10日(土)

13:00 「ラーニングアーバー横蔵」集合

13:30 開校式

14:00 森づくり体験

16:30 横蔵寺の紅葉ライトアップの見学

18:00 入浴／楽習会

19:00 夕食交流会

22:00 就寝

○11月11日(日)

7:30 朝食

8:30 森づくり体験、道具の手入れ

12:00 昼食

12:45 反省会、閉校式

13:15 現地解散(帰路は、コミュニティバス利用*となります)

↳ 希望者はオプションコースへ↓

○オプションコース

13:15 「森林の楽校」閉校式終了後、移動

13:30 (調整中)

16:00 下山、解散、送迎(穂積駅までお送りします)

【問合せ・申込み先】

